

2017年

3月11日[土]

5月7日[日]

休館日……月曜日

※ただし3/20月祝は開館、3/21火は休館

開館時間……午前10時～午後5時

(入館午後4時30分まで)

観覧料……一 般 800(600)円

大高生 500(400)円

中学生以下 無料

※○内は20名以上の団体料金

主催……公益財団法人 香雪美術館

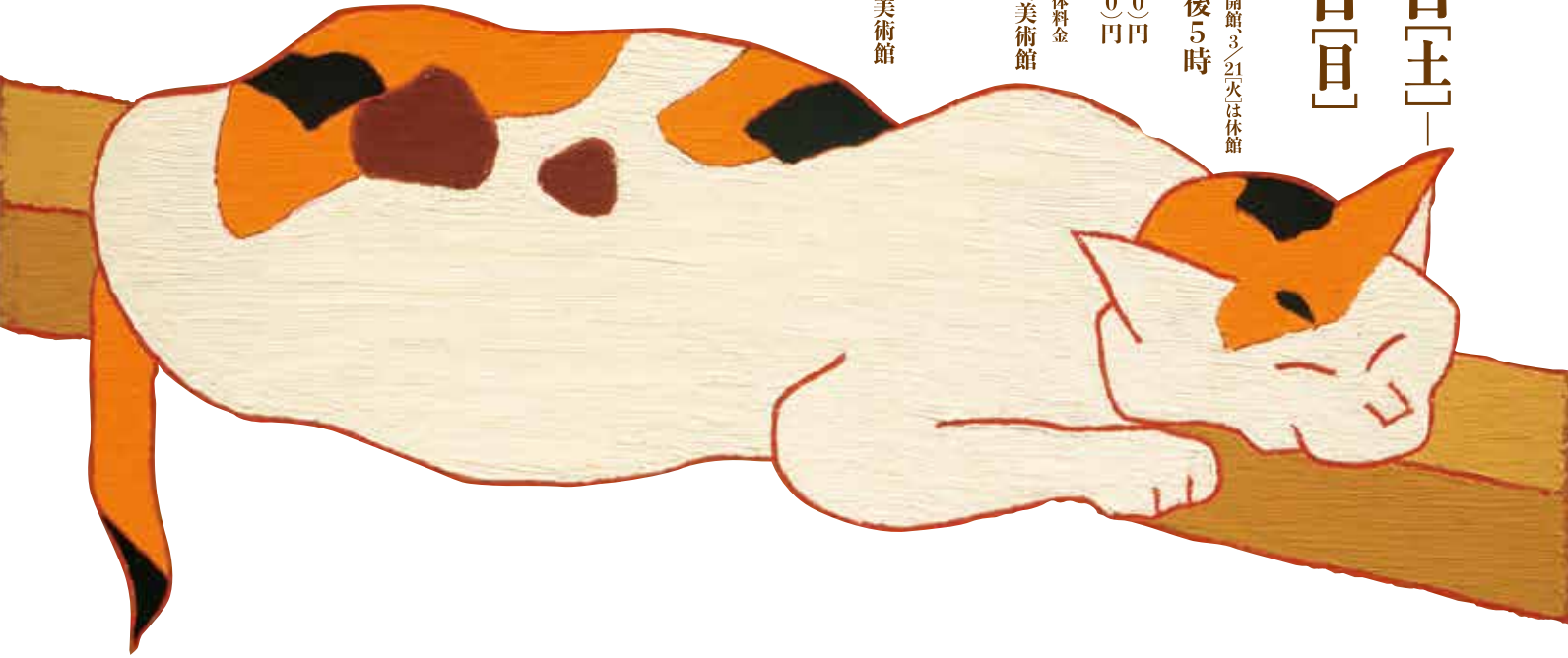
朝日新聞社

協力……熊谷榎

愛知県美術館

岐阜県美術館

豊島区立熊谷守一美術館



没後40年

お前百まで
わしゃいつまでも
熊谷守一

熊谷守一 お前百まで わしゃいつまでも
油彩、書、水彩ほかから

「猫」(部分)1965年、「お前百までわしゃいつまでも」1973年 ともに 愛知県美術館(木村定三コレクション)



1



3



10

KUMAGAI MORIKAZU

明治から昭和にかけて97年の生涯を生きた画家・熊谷守一（明治13年1昭和52年（1880-1977））。おほかたで明快な画風はいまなお多くの人々に親しまれています。しかし、その生涯は決して穏やかなものではありませんでした。父は実業家で初代岐阜市長などを務め、裕福な家庭ながら、異母兄弟らに囲まれて複雑な幼少期を過ごします。明治33年（1900）東京美術学校（現・東京藝術大学）に入学。



4



2

藤島武二や黒田清輝の指導を受け、同級生には青木繁らがいました。明治42年（1909）、自画像『蠟燭』が文展に入選するも、父の死によって残された負債を抱え、経済的に厳しい画家生活が始まります。42歳で結婚し5人の子供に恵まれますが、極端に寡作なため生活は困窮を極め、子供が病に倒れても医者にも見せることもままならず、うち3人は亡くなってしまいます。深く長い悲しみの時間の中で、石ころや草花、猫や虫など、身近な自然の中の小さな命を輪郭線で捉え、線の中を埋めていく作風に到達します。シンプルな線と明確な色彩面は、素朴で

澄んだ眼差しがとらえた命の証

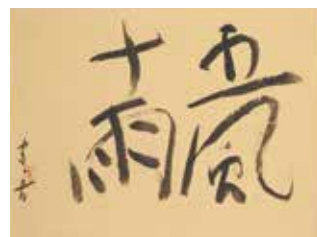
ともいえるでしょう。

また「お国のために何もしたことが無いから」と

グマカイセリクハス



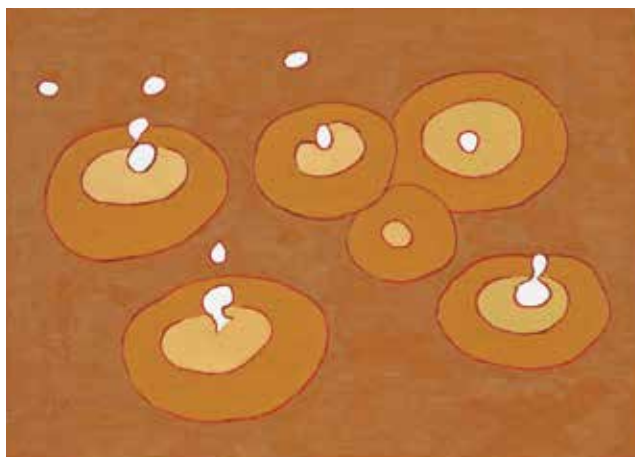
5



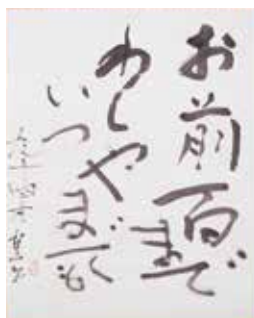
7



6



9



8

「画壇の仙人」

と呼ばれました。

本展では、熊谷守一の油彩画やその作画の工程、書や水墨画、初公開の屏風や書簡を含む約70点から、

画家・熊谷守一の生涯と表現を振り返ります。



11

- 1 「向日葵」1928年 油彩 / キャンバス
- 2 「石亀」1957年 油彩 / キャンバス
- 3 「猫」1965年 油彩 / 板
- 4 「朝のはちまり」1969年 油彩 / 板
- 5 「雨滴」1950年 墨 / 紙
- 6 「ヤキバノカエリ」1956年 油彩 / キャンバス
- 7 「五風十雨」制作年不詳 墨 / 紙
- 8 「お前百までわしゃいつまでも」1973年 墨 / 紙
- 9 「雨滴」1961年 油彩 / 板
- 10 「自画像」1959年頃 オイルパステル / 紙
- 11 「赤蠟」(部分) 1949年

1 個人蔵 2 3 5 6 9 11 愛知県美術館(木村定三コレクション)蔵
4 6 岐阜県美術館蔵 7 豊島区立熊谷守一美術館蔵 10 岐阜県美術館寄託
※会期中、一部展示替えがあります。

講演会

「コレクター木村定三と熊谷守一の交流」

2017年3月19日(日) 午後1時～(約1時間半)

講師:石崎 尚氏(愛知県美術館 学芸員)

定員:50名 ※当日10時30分より整理券を配布します

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から

学芸員のギャラリートークを行います

※講演会、ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です

次回展「悉有仏性 ～全てのものに仏が宿る～ 佐藤辰美コレクション展」5月20日(土)～7月2日(日) 月曜日休館

【交通案内】 ※美術館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用下さい。

阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分

JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分

阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1

Tel:078-841-0652 http://www.kosetsu-museum.or.jp

